



みずのとうじょう
 ②〔天明癸卯帖 二〕 (部分)

天明3年(1783)4月1日~9月14日
 *松井素輪俳諧日記
 縦18.0cm×横19.5cm(見開き原寸)

前橋本町の本陣の主人で俳人としても知られた松井素輪が自身の俳諧日記のなかに描いた浅間焼けの被害絵図です。噴火口に近い吾妻川上流域の村々の被害を中心に描かれています。聞き書きのためか大笹村などの位置に誤差(大笹村は実際には吾妻川南岸)が見られますが、当時の上州の知識人が真近で起こった浅間焼けの大災害に非常に強い衝撃を受け、その様子を克明に書き残そうとした様子が伝わってきます。

松井家旧蔵文書 P01013 No.805